

— 信頼される確かな技術 —  
**信和設計 株式会社**



所在地：〒169-0072 東京都新宿区大久保2-3-4 出光新宿ビル  
 TEL : 03-5287-3380  
 FAX : 03-5287-3240  
 URL : http://www.sinwa-ce.co.jp/  
 従業員：34名  
 設立年：1969年10月  
 代表者：代表取締役 相原克次



出光ビル



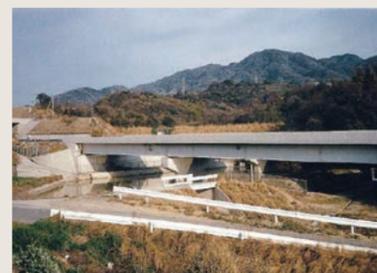
糸魚川IC



東海JCT



R246江田駅前ほたる橋



赤井池橋



木曽川橋



中央道笛吹スマートIC



施工管理業務本社報告会



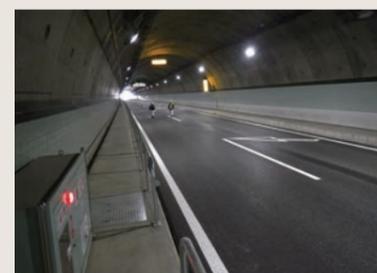
中部横断道宮狩トンネル坑内



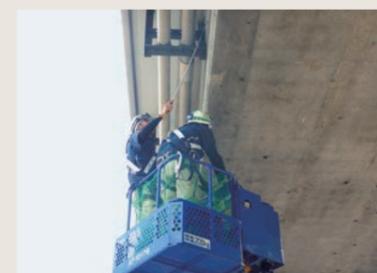
中部横断道宮狩坑口



業務ワーキング



トンネル初期点検



橋梁点検

**これまでの歩み**

信和設計は1969年10月に6人の有志により設立され、2019年で創業50周年を迎えることが出来ました。当社は道路設計業務を主体としており、半世紀におよぶ信和設計の歴史も日本の高速道路整備と共に歩んで来ました。

会社創成期は高速道路新規五道の建設が進み、北陸道、中央道、東北道で本線・インターチェンジ・休憩施設等、多数の設計業務に参画することが出来ました。また1970年代後半より関越道、常磐道において施工管理業務に進出し、設計と施工の両面からの技術向上に努めました。こうして培ってきた道路設計技術は、1980年代に本四連絡橋の事業拡大に伴う道路、橋梁設計へと活かしてきました。そして今、常に変わらぬ「信頼される確かな技術」のもと、技術向上に努めると共に道路設計のみならず総合的な土木設計分野の拡大を目指しております。

**経営方針（創業者からのメッセージ）**

当社の経営方針は創業時より一貫して顧客の信用、

信頼を得る事を第一に正確、敏速に業務を行う事をモットーにしております。技術的には社会の要求に的確に対応すべく、新技術、環境問題等をテーマとして勉強会を開き一層の研鑽を心がけております。

我々の業務には大きな波があります。新規事業の後には、40年、50年後にメンテナンスが必要となります。既存の社会インフラの維持管理・改良など長期的に活用するために、また後世へより良い状態で残すために老朽化、地震から守る技術の習得に常に取り組んでおります。今後更に社員が健康で、質の高い業務が出来るよう、自己啓発のもと、勉強会を開き新時代に対応していきます。

**当社の強みと担い手の育成**

当社の「強み」は「設計コンセプトを理解した現場施工管理業務の遂行、現場を理解した設計業務の実施」と認識しており、設計・施工管理一貫方式からの「設計の妥当性確認」の実証を目指しています。この「強み」を継続し伸長する為に担い手の確保・育成に努めています。

半世紀前より日本はすでに「人口減少・超高齢社会」の到来を予測し、これらの課題に各分野において対応してまいりました。私たち信和設計は担い手の育成において“私たちと共に今あなたの夢を確実な成果に仕上げよう”をスローガンに挙げ、いかに魅力的な仕事とすることが出来るか、長くやりがいをもってこの仕事に臨むことが出来るか、常にこれらを考え未来を担う若者たちへ確実に継承しています。

**創業50年の実績と技術革新へ向けて**

当社は物流の大動脈となる高速道路から人々が移動の要とする生活道路までの道路整備全般について助言、提案してまいりました。創業時は設計延長20kmを超える道路設計も手作業で行われていました。ここには技術者同士の的確なコミュニケーションが有り、地形図の上に特大のクロソイド定規を載せて本線中心線を何本も計画し最適ルートを選定を行いました。

道路設計のみならず橋梁設計、トンネル設計等その時に得た多彩で豊富な経験と実績はナレッジデータ

ースとして蓄積されており、現在は自動設計ソフトを使うにあたり重要な要素として活用しております。今後土木設計は3次元化が進み、より精度の高いデータの活用のもと、合理的で高品質な成果が提供されることと思われれます。しかしこれらのコモディティ化に対して、当社では技術革新へ向けて独自に蓄積するナレッジデータベースを活用し、合理的で高品質な成果品を提供してまいります。

**次の半世紀に向けて**

我々の住む美しい国土、日本。全国何処に暮らしていても安全で平和な日常生活を送ることが人々の願いです。自然災害に対して強靱でしなやかであり、バランスの良いインフラ整備が施された生活基盤の構築が必要です。これまでの半世紀に築かれた「信和イズム」は会社に根付き次の世代に引き継がれます。私たち信和設計社員は魅力ある国土創生をめざし、情熱を持って次の半世紀に向けて進みます。

(文：代表取締役 相原克次)